

第2号議案 平成30年度 事業計画（案）・予算（案）について

平成30年度 特定非営利活動法人スノーパーク小出 活動計画（案）

（平成30年8月1日～平成31年7月31日）

多様な市民活動の場という、当法人が掲げている目的のもと、この地域を一つのエリアとして活用する方向性を法人内部はもちろん、会員の方をはじめとした方々との意見交換を通じすすめて行きます。

現状の冬の収入比率が高い状態への脱却を図り、スキー場管理運営事業は利便性の高いサービスを提供できる素地を作り出してゆくほか、見晴らしの湯こまみの管理運営をはじめ、夏場の小出スキー場での活動を活発化させてゆきます。それらによって運営組織の強化・財政基盤の改善を行うことに加え、このエリアを総合管理してゆける体制を構築し、小出スキー場周辺を一体的にオールシーズン営業できる道筋を目指して行きます。

小出スキー場の管理運営に関する事業 事業計画

平成31年の魚沼市による索道・圧雪車の整備打ち切りの方針を直前に控える中、安定した運営体制にするため、引き続き事業費の効率化に取り組み、長岡や新潟といった県内市街地と、学校授業等で関わりのある地域への営業活動を強化するほか、利便性を向上させた取り組みを実施し、入り込み数の増加、売上の増加を図り、財政基盤の改善を図ります。それと並行し、索道を始めとしたスタッフの教育研修を行い、スキーエリア全体のサービス向上に取り組みます。また、業務を受託している見晴らしの湯こまみとの連携で、来場者への利便性向上を図ってまいります。

増加傾向にある学校スキー授業では、指導者の連絡相談体制の明確化、将来的な学校授業との連携を模索します。安心安全にご利用いただくことを前提にした、雪や自然に関心を持っていただける企画や仕掛けを行うだけではなく、広報力を向上させ、多くの方へ情報提供を図ってまいります。

主な活動予定

○営業前

- ・営業中の運営体制についての会議・打ち合わせ
- ・シーズン前刈り払い（10月・6月） 計2回
- ・スキー場パンフレット・ポスターの作成・配布
- ・情報発信（ホームページ、SNS、ネットサイト、マスコミ、イベントへの露出）
- ・イベント出展（ブースの展示、早期限定リフト券の販売等）

○スキー場人材育成（スキー場スタッフの研修会・勉強会への参加・企画）

- ・スキー場業務内容の改善・簡略化

○光熱水費削減の取り組み

- ・凍結防止用節水栓の取り付け
- ・水洗トイレ節水器・自動水栓の取り付け
- ・タッチ式型自動ドアへのセンサー変更（2年計画）
- ・消雪パイプ電源盤の鍵交換
- ・小出スキー場清掃活動（5月）計1回
 - ・営業活動の実施（新潟県内・東京都内）
 - ・搬器取り付け（11月中）
 - ・スキー場営業準備作業（12月16日～12月21日）

○通信費削減の取り組み

- ・公衆電話専用回線の廃止（従来回線に組み込み）

○スキー場安全祈願祭（12月16日（日）友引（予定））

- ・普通救命講習・避難訓練（スタッフ・指導者対象 12月中旬頃）

○営業期間

◎スキー場営業

平成30年12月22日（土）～平成31年3月10日（日）

計74日（予定）

※3月4日（月）以降のみ 土日のみ営業

※シーズン中無休

※降雪状況によっては変更の可能性有

昼間営業時間 12月27日まで9:00～16:00

12月28日から9:00～17:00

◎ナイター営業

時間 原則17:30～21:00

ゲレンデ状況悪化時、17:00から30分ゲレンデ整備時間

※事前に告知を徹底する

年末年始12月29日・30日と平成30年1月2日・3日・4日

週末 1月・2月・3月の土曜日

計14回

○入り込み数目標（22,400人）

12月2800名 1月11000名 2月7000名 3月1600名

◎営業終了後の作業内容

- ・スキー場撤収作業 3月11日（月）～3月15日（金）頃まで

◎集客の取り組み

- ・こまみと連動した案内看板の設置（インターからこまみ間・入り口）
- ・雪マジ１９・雪マジ２０の継続
- ・市内高校生を対象とした集客対策
- ・近郊専門学校、大学への呼びかけ、広報
- ・子どもの放課後を対象とした集客対策
- ・子どもを対象とした自然体験活動の実施
- ・子どもを対象としたグレンデ周遊イベントの実施
- ・小学生や新たな利用者層を対象としたスキーモニターツアーの実施
- ・未就学児を対象としたスキー以外の滑走器具の充実化と収益化
- ・見晴らしの湯こまみとの連携（情報・看板・イベント）
- ・レンタルウェア（主に子ども）の充実化
- ・インバウンド向けの試験的取り組みの実施（二次交通含むチケット化）
- ・平日に利用される方々の誘客促進（バック販売等）
- ・イベント等のブース出展

○見晴らしの湯こまみでの券売サービスの実施（券売機導入）

○見晴らしの湯こまみでのレンタルサービスの実施（完全予約制）

（12月冬休み、1月学校授業・中高齢者、2月・学校授業 3月学生・中高齢者）

○歩くスキー（シール付きスキー）の試験導入

→サンプル品を見て導入するか判断

- ・宿泊施設への広報活動
- ・スキー場とのシーズン券相互提携、スキー場間共通シーズン券の交渉

◎学校関連

- ・首都圏小学校ウィンタースクール
- ・新潟県内の小中学校スキー授業の受け入れ
- ・指導者・引率ボランティア向けの連絡協議会の開催
- ・リフトの乗り方・ブーツの履き方 DVD の改訂制作
- ・学校授業と連動したウィンタースクールの連携提案

◎各種イベント

- ・オープンイベント リフト券 1,000 円 ※延期の場合は別途選定し、実施する

○小出スキーカーニバル（予定） リフト券 1000 円 各種イベント

2月9日（土）予定

○スキー場貸し切り（ナイター営業） 魚沼市観光協会取り組み

小出スキー場に隣接する施設の管理運営事業

小出スキー場に隣接する施設として、見晴らしの湯こまみの管理運営を法人事業として取り組み、様々な方々との連携を交えた企画や、周知・誘客活動を積極的に行い、利用価値の高いコンテンツを生み出していくほか、生き生きと活気ある施設としての取り組みを行ってまいります。また、平成31年度に予定されている施設大規模修繕をより効果の高いものとするため、今年度の基本設計に、エネルギーコスト削減を視野に入れた法人としての意見を提案し、今後の持続できる経営体制づくりを目指してゆきます。

○見晴らしの湯こまみの運営について

- ・営業のための管理運営 ※施設修繕等については従来どおり行政直営
- ・誘客、周知のための企画立案・検証
- ・ホームページの刷新、SNSを活用した周知広報の実施
- ・平成31年度の大規模修繕に向けた企画案の検討
 - ・中小企業庁 エネルギー診断への申込み、改善案を基本設計業者へ提案

事業期間

- ・平成30年4月1日～平成31年3月31日（1年間）

※事業受託期間については1年毎に更新

事業種類

特定非営利活動事業（収益事業）

定款第5条1項その6 小出スキー場に関連する施設の管理運営事業にて行う
定款の変更が承認された後は新項目にて事業を管理する。

○小出公園の使用方法についての提言、意見交換の検討

特定非営利活動事業 活動計画案

当法人の掲げる目的に沿って小出スキー場周辺を一つのエリアとして捉え、一年を通して目的に沿った活動を推進してまいります。様々な実績を積み上げていくことで、エリア全体の特性を把握し、活発な意見を生みだしてゆくことで、様々な方々に利用されるエリアとして愛され、必要とされる存在意義を見出してゆきます。

・会員制度について

- ・継続会員、新規会員へのご案内呼びかけ（9月から）
- ・施設内でのデジタルサイネージ取り付け
- ・デジタルサイネージを活用した会員広報の実施
- ・入会メリットの拡大（会員向け優待制度の充実）
- ・入会、継続用のwebページ設置、キャッシュレス支払いへの対応

・健康増進に関する活動

○サマーシーズンの小出スキー場活用

- ・小出公民館との共催によるトレッキングの実施（8月11日、10月21日）
- ・定期ノルディックウォーク活動実施（9月6日から11月1日まで 計9回）
- ・ノルディックウォークエクササイズ指導者の育成（2名を新規育成）
- ・ノルディックウォークステーションの継続運営（機材斡旋販売・情報発信）

○ウインターシーズンの小出スキー場活用

- ・脱！冬ごもり教室（スキーシーズン 週1回 計10回予定）
- ・冬の里山を活用したハイキングの実施（計2回予定）
- ・スキー置き場の利便性向上

・スキーカーニバルなどイベント管理・運営に関する事業

- ・スキー場オープンイベント（日程はスキー場事業に記載）
- ・小出スキーカーニバル（日程はスキー場事業に記載）
- ・スキーシーズン中のスキーモニターツアー（新潟県委託申請中）
- ・スキー場を活用したイベント（うんどうかい・ゲレンデラリー・宝探し）
（日程調整中）

・まちづくりの推進に関する事業

- ・子ども地域活動推進事業（魚沼市教育委員会委託）実施（10月8日）
- ・スポーツゴミ拾い大会（魚沼市補助事業）（11月初旬）
- ・環境省モニタリングサイト1000 里地・里山調査（11月まで月1回）

○収支予算（案）について

- ・別ページ参照